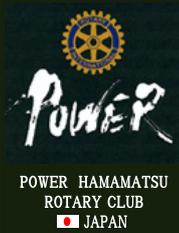


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

クルクルまわそうロータリー

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ/第 2620 地区ガバナー 浅原諒蔵 /会長 加藤ひとみ /幹事 高部光司
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



第911回例会10月18日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：曾布川美登理 加藤威 ■点鐘：加藤ひとみ ■週報：鈴木一広
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」(※音楽のみ)
- ゲスト：国際ロータリー第 2620 地区 2022-2023 年度ガバナー 浅原諒蔵様
同上 地区副幹事 渡辺一広様
同上 ガバナー補佐 坂田茂様、同左 事務局次長 竹村寿文様
米山記念奨学生 陳俊達さん

出席報告/スマイル報告

会員数 74 名(内 出席免除会員 1 名)
出席数 58 名 出席率 79.5%

スマイル提出者氏名掲載
加藤ひとみ会長・高部光司幹事
社会奉仕部会一同 鈴木亮 会員

会長挨拶 加藤ひとみ 会長

皆さんおはようございます。浅原ガバナー、渡辺地区副幹事、坂田ガバナー補佐、竹村事務局次長、本日は朝早くからお越しいただきありがとうございます。また、一昨日は花のリレープロジェクトの一環として気賀駅での奉仕作業にたくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。暑かったですね。それで、も本格的な秋になってきました。先週末から金木犀が咲き始め、そろそろ咲き終わるようです。あの強い香りが好きなんです。今年はあまり香りがしていないような気がします。私の鼻が悪くなってしまったのでしょうか。

秋の味覚の一つとして、葡萄がありますね。ちょっと前までは、この時期の代表的な葡萄は、巨峰やピオーネでしたが、最近ではシャインマスカット全盛の感があります。10 数年ほど前にこれを食べたときは驚きました。今までの巨峰やピオーネは、皮をむかなくてはならず、私、皮むく人、僕食べる人間的な感じだったのですが、シャインマスカットはそのまま食べられ、しかも美味しい。テーブルに置いてくといつの間にかなくなっている優れたものです。



また、7,8 年前に金沢に行ったときに泊まった旅館で、「石川の新しい宝石のような葡萄」ができましたので、試しにどうぞ、と言われていただき、これも超美味しくて感激したのがルビーロマンです。このルビーロマンは、石川県の特産化という方針だそうで、ほかにあまり出回らず、出回る時期も短く、かつ高価です。シャインマスカットは、大変な試行錯誤と時間をかけて作り出されたものですが、これを海外に出すことは考えてなかったということで、現在は何の制限もなく韓国や中国で作られてしまっているとのことですが、なんとルビーロマンまで韓国などに流出してしまっているとのこと、どの様にして流出してしまったかはともかく、海外で規制をかけられる措置をしなかったとのことで、今となってはどうしようもないとのことでした。大

変な苦勞の末にできた傑作をいとも簡単に使われてしまうことに憤りに近いものを感じています。ただ、同じシャインマスカットでも作り手、作り方によって味は全くといっていいほど違います。実際、韓国のシャインマスカットは味がまいちで、値崩れしているらしいので、ルビーロマンもそうであってほしいと思っている今日この頃です。現在も、どんどん新品種を開発して様々の葡萄が発売されています。昨年のはまったのが、ブラックビートという品種です。皮はむくタイプですが粒が非常に大きくて、果肉の歯触りがよく、大変気に入っています。また、今年は、長野のクイーンルージュとクイーンニーナを試してみました。クイーンルージュはシャインマスカットの赤系葡萄で皮ごと食べるものです。シャインマスカットより果肉が柔らかくこれはこれで美味しいと思いました。またクイーンニーナは皮をむくタイプで、正直皮が向きにくい点が少し難点だと思いますが味は抜群でした。どんどん品種改良して新しい品種を作り出していく日本の農業従事者の方々に尊敬し、高級果実、高級野菜として世界に冠たる日本であってほしいと心より願っております。

それでは、今日もよろしくお願いたします。

- ① 10～12月会費
- ② 台風15号災害 静岡県義援金募集
- ③ 台風15号被害状況調査について
- ④ 台湾 M6.8 地震支援金募集の報告
- ⑤ 第914回例会 地区補助金事業のお知らせ
- ⑥ 地区大会のお知らせ
- ⑦ 2023年国際ロータリー年次大会
- ⑧ 浜松市 ウクライナ避難民支援金の報告

委員会報告

■財団プログラム小委員会 安間利広 委員長

お弁当配達を申し出ていただいていたが、漏れた方については申し訳ありませんでした。配達していただける方、宜しくお願い致します。

■ゴルフ同好会

第129回浜松11RC親睦コンペの結果

議事

今年度、ガバナーを務めます浅原でございます。本日はパワー浜松ロータリークラブを公式訪問させていただく機会を得ましたことに感謝申し上げます。公式訪問にあたり、合同例会ではなく可能な限り一つずつ訪問させていただきをお願いをしましたが、それは地区内74クラブあれば74通りの例会の進め方があることを体験したかったということと、各クラブご自慢の美味しい食事を出来るだけ味わいたかったからです。

さて昨年の小林年度に引き続き、私の年度も残念ながらコロナ禍のためPETS、地区研修協議会をリアルで開催できませんでした。特にPETSは各クラブ会長に直接、RI方針やRIテーマについて説明する良い機会となる筈でしたが、適いませんでしたので本日、時間の許す限り丁寧にお話したいと思います。

今年度、ジェニファアRI会長のテーマは「イマジンロータリー」です。これはロータリーといえども時代の流れ、変化に無縁ではなく時代に即したロータリーをイマジンして下さいという呼びかけです。ロータリーの本質は変わらないものの、新しいクラブの設立や受け入れ、DEIといった考え方がそれにあたります。新しいクラブの設立を提唱するのは従来型のクラブでは、入会を希望しても仕事の都合などで、それが敵わない人達を迎えるための工夫です。



RIの2022-23年度 主要優先事項DEIの理解と取り組み

- Diversity (多様性) : ロータリーは、あらゆる背景をもつ人や幅広い文化経験、アイデンティティの人を歓迎します
- Equity (公平さ) : ロータリーは、クラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つよう努めています
- Inclusion (インクルージョン) : ロータリーは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます

14



そしてRIはDEIを今年度の最優先事項に位置付けています。ただ多様性、公平さ、インクルージョンと言っても我々、日本のロータリーには理解しづらいと言いますか、馴染みにくいと言った側面がありますが、それを分かり易く話をすることがガバナーの役割と考え、DEIに附いてお話ししたいと思います。

DEIのD、ダイバーシティ「多様性」の意味を「あらゆる背景を持つ人や、幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します」とRIは説明しており、そして「あらゆる」とは民族、人種、肌の色、言語、宗教等を指す訳ですが、この辺りが単一民族、単一言語の日本の社会にとって馴染みにくい部分ではないでしょうか。

私はこれをもっと日本のロータリー向けに分かり易く「多様性とは、一つは女性会員を増やすこと、二つ目は異業種、これまで自分達のクラブには居なかったような職業分類の人を会員として迎えよう」と説明しています。会員候補者を企業経営者や弁護士、医者といった従来からある職業分類ではなく、もっと違う分野に新たな候補者を求めることが、日本のロータリーにとっての多様性と考えます。「公平さ」に附いては、改めて話すまでもないと思いますので、「インクルージョン」に附いて説明します。RIではインクルージョンを組織に所属する人、すべてを包み込むに受け入れることと定義しておりますが、分かり易く説明しますと、入会して何年が経過したから、あの会員には今年、〇〇を担当してもらうといった具合に年数で役割を決めることは、インクルージョンに反します。ロータリーに入会して何年ではなく、その人に適した役割、その人が力を発揮できる役割を担ってもらうことがインクルージョンです。

限られた時間に全てをお話し出来ませんので、ガバナー月信でも説明しておりますので、そちらも参考にいただければと思っております。最後にパワー浜松ロータリークラブ様の益々のご発展をご祈念申し上げて、ガバナー公式訪問挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。